

2024年（令和6年）2月22日（木）岩手日日

出前講座などPR

生活衛生
同業組合 川崎でサロン向け

県美容業生活衛生同業組合と東磐井地区生活衛生同業組合連絡協議会は19日、一関市川崎町の川崎市民センターで「岩手セイエイ百貨店デモンストレーション事業」を実施した。川崎地域のふれあいサロンの世話人や代表らを前に、各サロンや出歩くのが難しくなった高齢者宅に向いて加盟組合員が事業を展開することを見据え、美容や理容、飲食のサービスをアピール

した。

東磐井地区では、同協議会が2022年度末に「岩手セイエイ百貨店東磐井地区参加登録店公式パンフレット」を市などの後援で製作し、全戸配布。高齢者の介護予防などに取り組みふれあいサロン（交流サロン）向けに、出張業務や組合員のプロの腕を生かした出前講座のプログラムをアピールし、サロンへの協力や来店以外の形での業務拡大などを狙っている。

同日のデモはこの流れの一環。川崎地域のふれあいサロン交流会の席上で行われた。

同協議会の構成組合のうち、美容業、理容、中華料理の各組合が講座を展開。二十数人を前に、マニキュアなどのネイル体験や、蒸

シタオルで目の疲れをほぐすアイスパ、中華料理講座をPRした。

同協議会内では、理容・美容は高齢者宅への出張を始めている店舗、中華料理ではサロンの実施場所として店舗を貸し出すなどの協力を検討している店舗があり、深刻化する人口減少と高齢化への対応を進めている。同協議会の小野寺宏行会長は「高齢者が出歩きにくくなると、リフレッシュや情報交換、顔合わせの機会としてサロンは重要になってくる。その場面で各組合が役に立てればいい」と話している。



岩手セイエイ百貨店デモンストレーション事業で行われたネイル体験講座